

第14期生ホーム・カミング・デー2（以下、HCD2という。）が、令和8年4月5日（日）、防大本科第74期生等の入校式への学校長招待行事等として実施されました。

14期生は、準備実行委員会を中心に、防大等との諸調整を経て綿密な実施計画を作成するとともに、参加者への案内、懇親会場やバスの準備等、1年以上に及ぶ準備期間をかけてこの日に備えてきました。

7時10分、前日からの荒天も回復し、強風に耐えた満開の桜の下、防大正門前に集合した14期生会の役員は、防大防衛学教育学群職員（制服自衛官）の周到な準備の下、HCD2参加者受け入れのため受付の配置につきました。

7時から開始された馬堀海岸から防大正門までの臨時ダイヤバスにより、HCD2参加者は続々と防大に到着し、8時の開門以降、正門での招待状の確認後、校内に入場しました。

正門では、入校式参列の父兄等と入門通路を分けるなどの工夫や防衛学教育学群職員及び防大学生の誘導により、控室が用意された防衛学館までスムーズに移動できました。

防衛学館には、陸・海・空の要員毎に受付が設けられ、出欠の確認後、青いリボンを受け取って控室に入り、久しぶりに会う同期と思い出話に花を咲かせました。



開門前の正門前



防衛学館での受付

8時40分、学校長との記念写真を撮影するため、防衛学教育学群職員の引率により時計台に向け移動を開始しました。

9時00分、時計台下階段で吉田学校長とともに、参加者全員で記念写真を撮影しました。



吉田学校長を囲んでの集合写真

写真撮影後、入校式典会場の記念講堂に入り、学校側のご配慮により HCD2 参加者のために準備された区画に着席しました。



式典会場



着席している 14 期生

入校式は、10時の宮崎政久防衛副大臣の臨場、防大儀仗隊による栄誉礼で始まり、国歌斉唱、任命・宣誓・申告に続いて、学校長式辞、防衛副大臣訓示、統合幕僚副長による来賓代表祝辞と進められました。

吉田学校長の式辞では、留学生を含むすべての新入生に対するお祝いの言葉と、宮崎副大臣をはじめとする多くの来賓の方々や新入生のご家族に対するお礼の言葉が述べられました。

そして、HCD2 行事についても言及され、この入校式に60年前に入校された防大卒業生の第14期生が参列していることを紹介し、「長年の国防へのご献身に対し、心から敬意を表します。」と述べられました。

この学校長のお言葉に対し、第14期生の方々はその場で起立をされ、応えられました。

また、学校長は、現在はAIを中心とした先進技術が急速に進展しており、社

会構造そのものが変わりつつある中でも、「志を立てること」、「目標を設定すること」、「決断し、責任を負うこと」、「信頼を構築すること」及び「意欲づけ（モチベート）を行うこと」は、AI が発展しても人間にしか担えない役割であり、これらは5つはリーダーシップの要素そのものであることを踏まえ、新入生に対し、「志を立てること」、「信頼を構築すること」及び「自主自立を体現すること」を要望されました。

次に、宮崎防衛副大臣は、新入生の入校を祝福し、仲間と支え合いながら成長してほしいと激励し、厳しさを増す安全保障環境の中で、自衛隊への期待は高まっており、政府も処遇改善に努めると表明しました。また、家族や関係者への感謝を述べ、将来の活躍を強く期待して訓示を締めくくられました。

最後に、松永統合幕僚副長は、現代の安全保障環境は複雑化し、AI・宇宙・サイバーなど新領域の台頭により戦いの様相が大きく変化しており、新入生には、能力（Capability）・つながり（Connectivity）・挑戦（Challenge）の「3つのC」を備えたリーダーになることを求めるとともに、自衛隊が守るのは国民の日常であり、強さと優しさを併せ持つ人間として成長してほしいと激励されました。

入校式終了後、HCD2 参加者は顕彰碑を参拝、献花を行い、志半ばに国に殉じたご同期に対する慰霊を行いました。

その後、参加者は陸上競技場に移動し HCD2 参加者のために用意された席に着き、学生隊のパレード、陸海空自衛隊機による祝賀飛行、儀仗隊のファンシードリルなどを見学しました。



陸海空代表による献花



観閲式

観閲式の参観を終えた HCD2 参加者は、希望者のみ校内見学を実施し、職員に資料館および学生舎を案内してもらいました。その後、借上げバス 3 台で母校を離れ、懇親会場である「セントラルホテル横須賀」に向かいました。

懇親会には、ご家族、来賓等を合わせて約 140 名の方が参加されました。

まず、懇親会の冒頭で殉職者を含む91名の亡くなった同期の方々に届くよう参加者総員で学生歌を斉唱した後、黙とうが行われました。

その後、河野期生会長が挨拶され、開宴となりました。

引き続き、吉田学校長及び丸茂同窓会長が祝辞を述べられました。



吉田学校長挨拶

陸海空ごとに分かれた着座式の懇親会でしたが、話が盛り上がるにつれ、互いにテーブルを歩き来し、学生時代に戻り様々な話題で大いに盛り上がりました。

懇親会最後は、参加者全員で逍遙歌を斉唱、斎藤元統幕長による万歳三唱の後、陸海空ごとに集合写真を撮影し、懇親会はお開きとなりました。



集合写真（陸）

集合写真（海）

集合写真（空）

おわりに、HCD2 実施に向け準備を進められた、第14期 HCD2 準備実行委員会の皆様のご活動に心から敬意を表しますとともに、準備から本番まで、本当に親身になってご支援をいただいた防衛大学校職員の皆様に心から感謝申し上げます。

（同窓会事務局 HCD2 担当 33 期海 岸本昌之 記）